

座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）

座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）とは

本市では、「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」において、下水道未整備区域の整備手法を検討しました。

具体的には、下水道未整備地域において、下水道で整備（集合処理）した方が有利か、各戸に合併浄化槽を設置（単独処理）して処理したほうが有利かを指標等により比較検討し、未整備区域の全域を下水道で整備することが有利と判断いたしました。

「座間市汚水処理施設整備構想」において下水道で整備する区域をアクションプランとして、令和4年度からの10年間で公共下水道による整備計画を策定しました。

座間市汚水処理施設整備構想

アクションプラン
計画期間：令和4年度～令和13年度

図1 汚水処理施設整備構想の構成

※国では、今後増大する下水道施設の老朽化対策や改築更新への事業転換を見据え、今後10年間で下水道施設の整備を概ね完了させる計画を「汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」と位置付けています。国が策定した「新下水道ビジョン」では、これを事業主体（市）が速やかに策定することを求めています。

本市では、「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」の策定に当たり、対象区域にお住まいの方に対してアンケート（令和元年9月）及び説明会（令和2年度）を実施しました。下水道整備についてのアンケートでは、83%（全回答数409名）の方が下水道の整備を希望との結果でした。アンケートの結果を以下に示します。



図2 下水道整備についてのアンケート結果

また説明会では、下水道の整備時期や下水道整備に必要な工事分担金、各戸の排水設備の整備、及び使用料金等の質問を多く頂きました。

本市の下水道について

本市の下水道は、健康で安全・安心な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため、1972年（昭和47年度）より事業に着手し、鋭意整備を進めています。2020年度（令和2年度）には、下水道処理区域内人口が128,980人となり、行政区域内人口に対する比率（区域内人口普及率）は97.9%に達しています。

	汚水処理人口(人)	汚水処理人口普及率
下水道処理区域内人口	128,980	97.9%
未整備区域内人口	2,778	2.1%
合計（行政人口）	131,758	100.0%

表 1 本市の下水道整備状況(令和2年度末)

しかしながら、市街化調整区域の多くが下水道未整備区域であり、水道水源の大部分を地下水に依存する本市では、きれいな自然環境の保全が求められています。

座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）の概要

「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」においては、指標（ベンチマーク）を設定し指標を達成するための目標年度及び取組を策定します。

（1）指標（ベンチマーク）及びその目標年度

指標：汚水処理人口普及率^{注1} 100% 目標年度：令和13年度末

注1：汚水処理人口普及率（%）＝当該年度末の下水道を利用できる地域の人口/当該年度末の行政人口

（2）目標達成の取組

①効率的な水道水源の水質保全

単独処理浄化槽・くみ取り世帯比率が高い地域から下水道を整備することで、水道水源の水質保全に努めます。

②経済性で優れる地域の優先的整備

整備単価（住民1人当たりの施設整備費）が低い地域を優先的に整備することで、早期整備を図ります。

③下水道への接続促進

水道水源の水質保全や下水道料金収入状況の改善を目指して、新規整備区域のみならず、下水道整備済区域の未接続世帯も含めた勧奨を実施し、早期接続を図ります。

「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」での整備期間及び、計画整備事業費の見込みについては以下の通りです。

年 度	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)	令和 10 (2028)	令和 11 (2029)	令和 12 (2030)	令和 13 (2031)
下水道施設整備期間										
計画整備事業費	総額 1,870 百万円（見込み）									

表 2 「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」整備期間・計画整備事業費の見込み

また「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」での目標値及び、整備人口^{注2}等の見込みについては以下の通りです。

目標年次：令和13年		全体	公共下水道	浄化槽		その他	早期概成手法	備 考 (早期概成手法の内容)
				個 人 設置型	市町村 設置型			
整備手法	整備人口(人)	1,504	1,504				道路線形にあわせた施工や小口径マンホール、浅層埋設を積極的に行い、コスト縮減、工事期間の短縮に努める。	本市の主要な水道水源は地下水であり、水道水源汚染防止の観点から公共下水道による整備を図る。 また、整備手法は低コスト整備手法であるクイックプロジェクト手法等を活用し、コスト縮減及び工期短縮を図り早期に未整備地区を解消する。
	整備面積(集合処理分)(ha)	37.4	37.4					
目標値	汚水処理人口普及率(%)		100					
計画水量(m ³ /日)		356	356					
計画汚泥量(t/日)		—	—					
概 算 事業費	総建設事業費(百万円)	1,860	1,860					
	年間維持管理費(百万円/年)	5	5					
整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)		1,237	1,237					
実行メニュー	既存浄化槽の下水道接続促進	○	○					

注2：整備人口(人)：当該年度末の下水道を利用できる地域の人口

表 3 「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」目標値・整備人口の見込み

「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」の対象区域は次ページ図3の通りとなります。

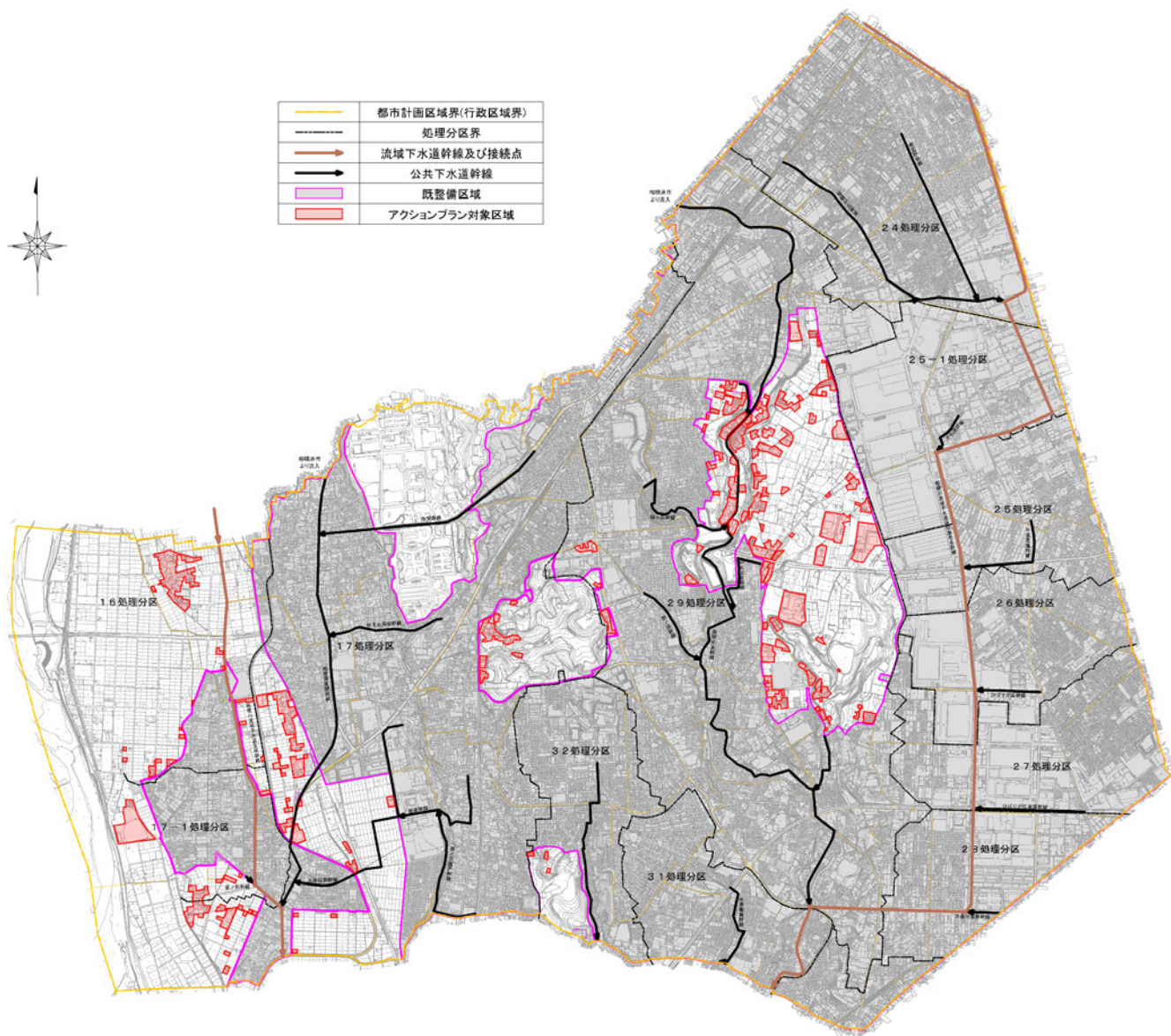


図 3 「座間市汚水処理施設整備構想（アクションプラン）」対象区域図



さまりん[®]

座間市マスコットキャラクター